

景觀審議會資料（野沢3号配水池）

青森市企業局水道部

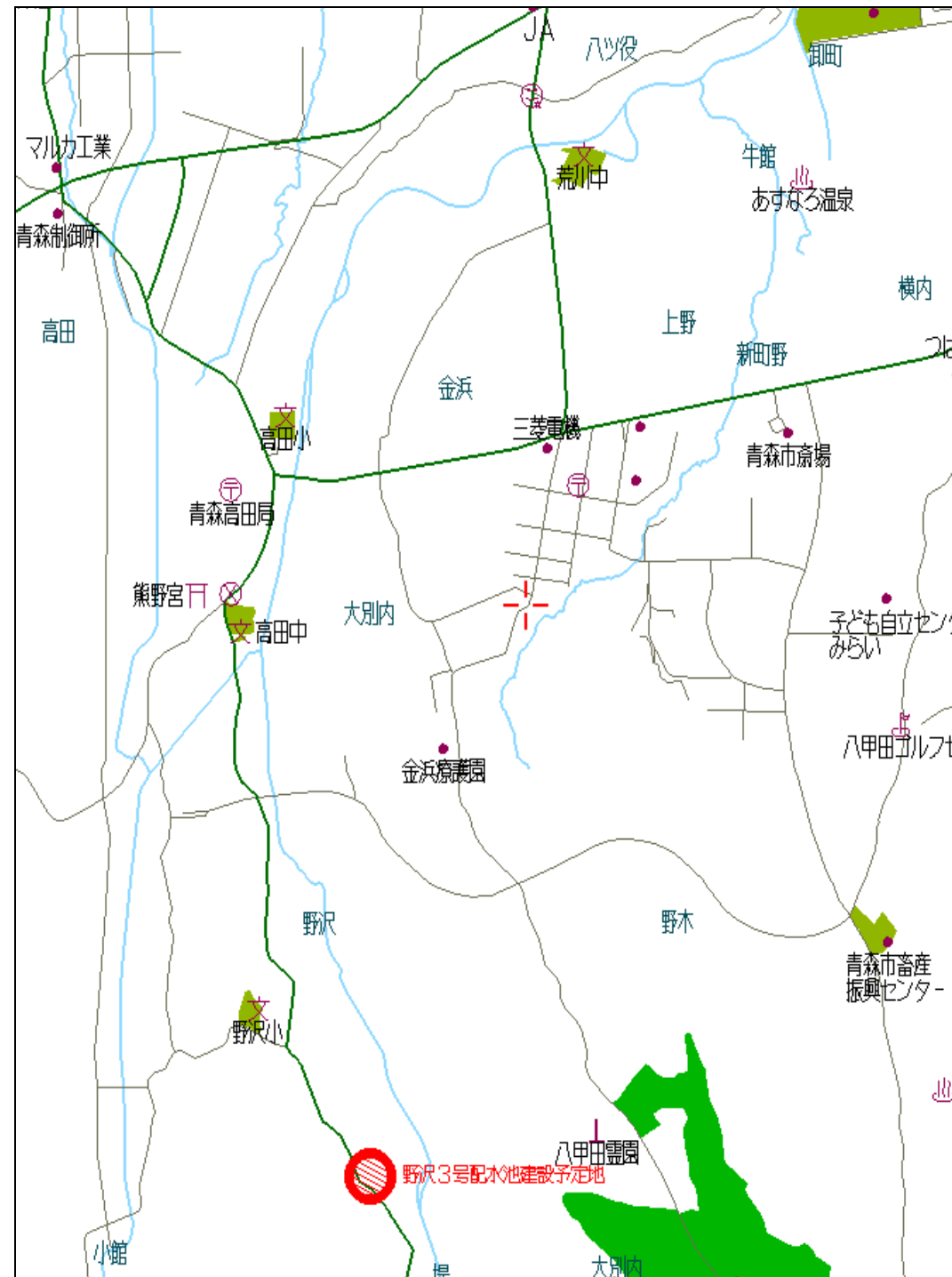
(1) 事業概要

既存の野沢配水池1、2号は、21,200m³の容量を有しているが、同配水池に水道水を供給している堤川浄水場の施設能力は61,000m³/日であるため、計画施設能力に対して8時間の貯留量となっている。

水道用配水池の貯留量の施設基準は12時間を標準としていることから、新たに同規格の野沢3号配水池を建設し、12時間分の飲料水を確保するため、平成24年度に設計を実施し、平成26年度に着工する予定である。

(2) 建設地点位置図

当該建設地点は、下図のとおり青森市南西部の野沢地区に位置する。



(3) 景観計画

当該施設を建設する周辺地域は、優れた田園地帯が広がる青森市景観計画に定める自然的景観（田園地域）の保全に努めるべき区域であり、背景は森林を眺望する緑豊かな地域となっている。

配水池建設計画は、公共の建築物として自然との調和を図る景観基準に合致させること、及び建設地は芝生での緑化に努めるとともに、景観の連続性を考慮し既存配水池と同色かつ同形状で建設を行う計画としている。

また、当該施設は比較的大規模な構造物であることから歩行者の圧迫感を緩和するため、前面道路から20m以上離れた場所に建設する。

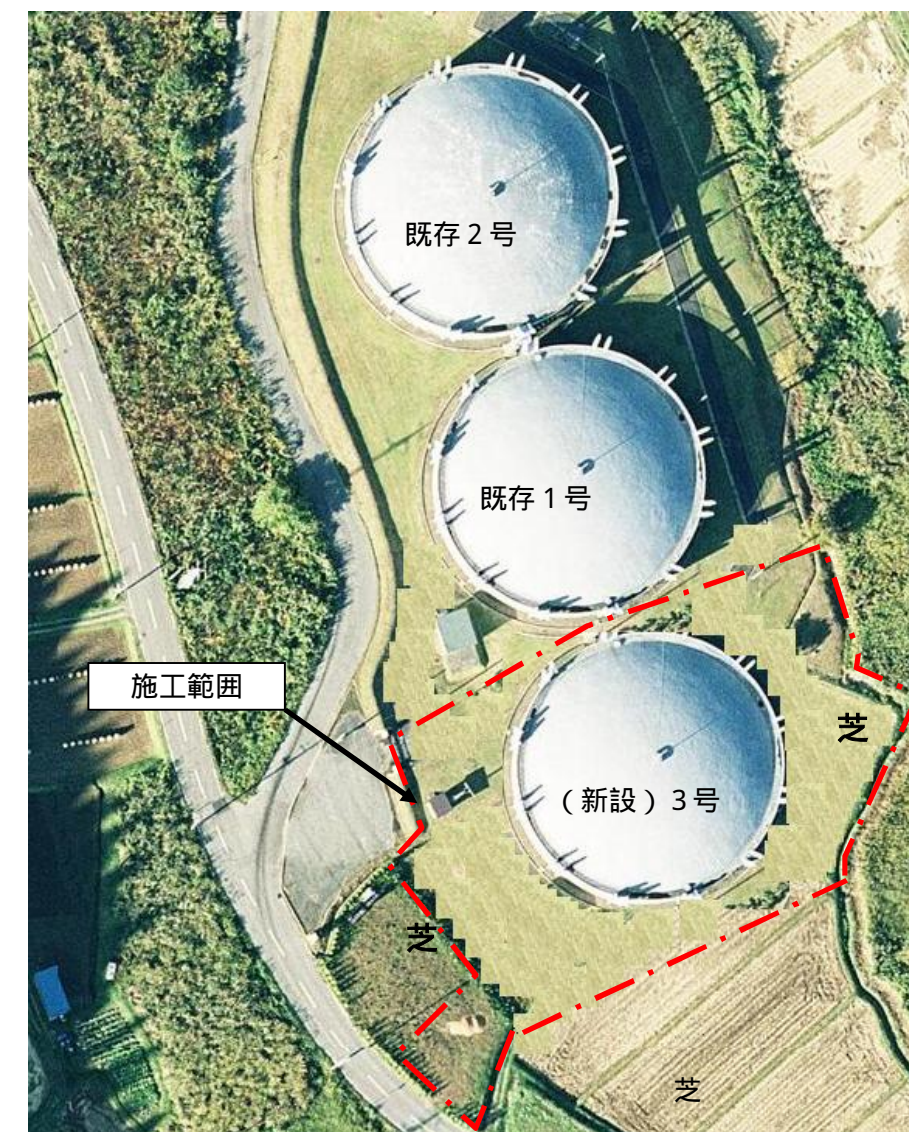
(4) 色調コンセプト

野沢配水池は、水道水を貯水するタンクである。

水道水は第一に清潔感が必要とされるため、既存の配水池は白を基調とした中に水色の柱をアクセントとし水道水を表現しており、3号配水池も同色とする。

(5) 写真

配置図（建設後の上空イメージ）



周辺写真

3号配水池は、現状の田圃を買収し建設を行う予定である。

写真方位図



野沢 3 号配水池 側面図

